プロジェクトレポート（1月7日分）

　ESTグループ　M1　菊池英俊

４Ｓ炉を導入したゼロベースからのスマートシティ案（離島における利用法）

具体的な例として，以下に載せました．

（1）フィジー

人口：849,000人

面積：18270㎞2

産業：農業，衣料，観光

「経済状況」

主に農業や衣料や観光で成り立っている．観光で得る収入は2億7000万ドルにのぼり，耕地面積は26万haある．農業に従事する人は13万人いる．輸出可能な商品はほとんどなく，貿易は大幅な輸入超過である．

リンク　http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A3%E3%82%B8%E3%83%BC

＜フィジーの長所＞

・環境に関して，原子力アピール等に可能性は残る．

＜フィジーの短所＞

・治安の方で不安がある．

（2）トンガ

人口：104,000人

面積：748㎞2

産業：農業，漁業，観光

「経済状況」

国内市場が狭く，貿易に適さない位置にあるため，経済が発達せず，慢性的な失業に悩む．輸出額700万ドルに対し，輸入額は7300万ドルにも達し，貿易赤字も大きい（以下，2001年時点）．主な輸出品目はカボチャ，魚介類，根菜植物．主な輸入品目は食料品，石油製品，金属製品である．日本に対しては大幅な貿易黒字 （2003年時点で年間900万ドル）となっている．輸出品はカボチャ（93%），香辛料，マグロ，輸入品は，トラック，乗用車，内燃機関である．

リンク　http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%88%E3%83%B3%E3%82%AC%E7%8E%8B%E5%9B%BD

＜トンガの長所＞

・慢性的な失業状態なので，原子炉を入れてから雇用が増えて活性化する可能性がある．

・もともと漁業が盛んであるため，魚肉加工工場などを導入することで，地元経済が活性化する可能性はある．

＜トンガの短所＞

・放射線による海の汚染を気にする地域住民からの反対運動が起こると考えられる．

「その他」

４S炉の発電出力

・発電出力10MW-50MW級の小型高速炉

「日本における離島の問題点」

我が国には多くの離島があり，地域的条件から様々な問題点を抱えている

1)．企業の立地条件において離島の問題として挙げられる点は，まず交通の利便性が低いことである．交通輸送の手段は，大きな島の場合は航空路線が就航している場合もあるが稀であり，また便数も少ない．離島における一般的な交通輸送手段は船舶である．しかし，便数が少なく移動に時間がかかることも消極的な面での特徴となっている．また，電力や工業用水の不足など産業基盤の面においても大きな制約を受けることから，企業誘致は困難である．そのため，離島における主要な産業となるのは漁業であり，平野部を多く持つ離島の場合はそれに農業も加わる．また，公共投資が積極的に進められ離島に重点化されてきた時代においては，建設業も主要な産業としての役割を担ってきた．しかし，公共投資が急速に縮小した今日において建設業は厳しい状況にあり，転廃業を余儀なくされている事業者も少なくない．こうした厳しい状況に対応するため，離島の地域経済の振興は国や都道府県による離島振興政策の一環として実施されてきたのである．

リンク先　www1.tcue.ac.jp/home1/sanken/pdf/45-1/45-1kawato.pdf